

# 第1回 兵庫玉掛け安全競技大会実施要領

## 1 趣 旨

クレーン等による労働災害は、長期的には減少傾向にあるが、毎年、玉掛け作業中に多くの働く人が被災するなど未だに憂慮される状況にある。かかる現状に鑑み、玉掛け技能の向上と安全意識の高揚を図り、玉掛け作業をはじめとしてクレーン等による労働災害の防止に寄与することを目的とする。

2 主 催 一般社団法人日本クレーン協会 兵庫支部

3 後 援 兵 庫 労 働 局

4 開催日時 令和6年7月13日(土)  
9時30分開会 17時閉会(予定)

5 会 場 兵庫県加古川市東神吉町出河原441番地1  
一般社団法人日本クレーン協会 兵庫支部

## 6 競 技

### (1) 競技種目

競技種目は次のとおりとする。

- イ 質量目測
- ロ ワイヤロープ径の目測
- ハ 玉掛け及び合図の実技

### (2) 競技実施方法

競技種目ごとの実施方法の概要は、次のとおりとする。

#### イ 質量目測

材料が鋼、アルミニウム、コンクリート、鋳鉄、木材等の対象物5個を、手を触れることなく、目測によって質量を判定し、それぞれの目測した質量(kg)を所定の解答用紙に記入する。

競技時間は、5個で7分以内とする。

#### ロ ワイヤロープ径の目測

直径の異なる玉掛け用ワイヤロープ5本を、手を触れることなく、目測によって直径を判定し、それぞれの目測した直径(mm)を所定の解答用紙に記入する。

競技時間は、5本で3分以内とする。

#### ハ 玉掛け及び合図の実技

- ① 選手は、審査委員に対し「ゼッケン番号を申告」した後、玉掛け技能講習修了証（又は玉掛けの業務に就くことができる資格を有することを証する書面）を提示する。
- ② 審査委員の『競技開始』の指示（時間計測開始）により、選手はつり荷の形状等を確認し、つり荷の玉掛けに最も適すると思われる玉掛け用ワイヤロープ及び補助具を選定し、玉掛け作業を開始する。  
（玉掛け用ワイヤロープを掛けるときには、玉掛け補助者1名をつけるので、選手から玉掛け補助者に対して的確な指示を行う。）
- ③ つり荷に玉掛け後、クレーンを呼び出し、つり荷をフックに掛け、地切りした後、選手は審査委員に『測定をお願いします』と申告し（時間測定停止）、つり荷の傾斜角度及び玉掛け用ワイヤロープのつり角度の測定を受ける。
- ④ 傾斜角度及びつり角度の測定修了後、審査委員の『巻き上げてください』の指示により、地上2.0mの高さ巻き上げてつり荷を停止させ、選手は審査委員に『測定をお願いします』と申告し、審査委員による高さの測定を受ける。
- ⑤ 高さ測定修了後、審査委員の『競技再開』の指示（時間測定再開）により、つり荷の高さを変えないで、所定の荷下ろし位置の真上までつり荷を誘導して巻下げを行い、着地させ、玉掛け用ワイヤロープを外し、クレーンのフックを地上約2mの高さまで巻き上げた後、選手はクレーン運転士に『作業終了』の合図（時間計測終了）を行う。  
（玉掛け用ワイヤロープを外すときには、玉掛け補助者1名をつけるので、選手から玉掛け補助者に対して的確な指示を行う。）
- ⑥ 競技に使用した玉掛け用ワイヤロープ及び補助具を競技開始前の場所に片付けた後、審査委員に『競技終了』の報告を行い退場する。  
（台木は片付けない。）
- ⑦ 合図の方法は、一般社団法人日本クレーン協会発行の「玉掛け作業必携」に掲載されている合図方法によること。なお、これによらない場合は、事前に使用する合図表等を送付すること。
- ⑧ 安全確認（指差呼称）は、次の5項目で足りるものとし、実施しなかった場合は原点の対象となる。

	項 目	指差呼称
1	フック中心が荷の重心上にあることの確認	「重心よし」
2	玉掛け用ワイヤロープの張り具合の確認	「張りよし」
3	玉掛け状態の確認	「玉掛けよし」
4	地切り後、つり荷の安定の確認	「地切りよし」
5	着地時につり荷の安定の確認	「着地よし」

- ⑨ 競技時間は、審査委員が『競技開始』の指示をしたときから、つり荷の確認、玉掛け、つり荷の移動、荷下ろし、玉掛け用ワイヤロープ外し、フックを所定の位置まで巻上げ、選手がクレーン運転士に『作業終了』の合図をしたときまでの時間とする。

ただし、審査委員によるつり荷の傾斜角度等の測定からつり荷の高さ測定までの時間は含まない。

- ⑩ この競技大会は、安全作業を重視するため、玉掛けの方法はあだ巻き掛けとして2本4点つりとする。

## 7 審 査

審査は、別に定める審査方法及び審査基準に基づいて審査委員が行うが、審査項目及び採点の概要及び失格事項は次のとおりである。

### (1) 審査項目、採点の概要

審査項目		持点	採点内容
玉掛け作業に適した服装・態度等		20点	番号の申告、修了証等の提示、服装・態度
質量目測		50点	誤差の程度により2～10点の減点
ワイヤロープ径の目測		50点	誤差の程度により3～10点の減点
玉掛 け 及 び 合 図 の 実 技	つり荷の傾斜角度	30点	つり荷の傾斜角度（縦・横各々）について傾斜角度の程度により5～15点の減点
	玉掛け用ワイヤロープのつり角度	30点	玉掛け用ワイヤロープのつり角度が60度を超えた場合、その程度により10～30点の減点
	玉掛け方法及び安全確認	70点	安全な玉掛け作業を行う上で、つり荷の確認、玉掛け用具の点検、取扱い、玉掛け方法、各種の安全確認、荷振れ等の有無、内容等により5～30点の減点
	合図方法	30点	必要な合図をしない、合図が不明瞭、合図を誤った場合等は5～15点の減点
	競技時間	20点	競技の所要時間が8分を超えた場合、2点の減点、さらに30秒増す毎に2点ずつ減点、12分30秒を超えた場合最大20点の減点

## (2) 失格事項

次の場合は失格となり、その時点で競技は終了とする。

- イ 玉掛け技能講習修了証（又は玉掛けの業務に就くことができる資格を有することを証する書面）を携帯していない場合
- ロ 他の選手と相談するなど不正な行為があった場合、また、目測物に直接触れて測定した場合
- ハ 審査委員長が危険又は不相当と判断した場合

(3) 同点者が出たときは、玉掛け及び合図の実技における「競技時間」以外の減点数が少ない者を上位とする。

## 8 表 彰

競技成績第1位から第3位までを入賞とし、賞状と副賞を授与する。

ただし、次の選手は入賞の対象としない。

「玉掛け及び合図の実技」の競技時間が13分を超えた者

なお、4位以下の選手には参加賞を授与する。

## 9 選手受付等

- (1) 大会当日、受付時間は8時30分から9時までとする。9時30分より開会式があるので、会場で着替えをする場合は、9時までに済ませること。
- (2) 選手に付添者が同行する場合は、原則として1名とし、選手の事業場の方とする。なお、受付後は競技終了まで原則として選手と付添者は接触できない。
- (3) 選手は、受付後は競技終了まで携帯電話等の所持は原則禁止とする。
- (4) 競技場内の写真・ビデオの撮影は禁止とする（当支部職員を除く）。

## 10 競技会場準備品

競技会場には、次のものが準備されている。

### (1) 玉掛け及び合図の実技

- イ 天井クレーン（運転室付き） 1台
  - つり上げ荷重 5.08 t 定格荷重 5 t
  - スパン 12.1 m 揚程 6.7 m
  - 定格速度 卷上げ 0.183 m/s
  - 横行 0.417 m/s
  - 走行 0.667 m/s
- ロ 競技用つり荷 競技大会当日に発表する。
- ハ 数種類の玉掛け用ワイヤロープ、玉掛け補助具

- (2) 質量目測及びワイヤロープ径の目測
  - イ 質量目測 5種類
  - ロ 目測用ワイヤロープ 5種類
  - ハ 卓上計算機（質量目測用）
  - ニ 解答用紙、筆記用具及びクリップボード

## 11 選手が持参するもの

選手は、大会当日、次のものを持参すること。

- (1) 玉掛け技能講習修了証（又は玉掛けの業務に就くことができる資格を有することを証する書面）
  - コピーしたものは不可とする。
- (2) 作業服、保護帽、安全靴、手袋等（玉掛け作業に適した服装等であること）
- (3) 笛（補助合図で使用する選手は持参すること）
- (4) 選手参加票（当協会から予め送付するもの）
- (5) 付添者もできるだけ保護帽を持参してください。